

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	財産管理業務				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	総務部	課等名	財政課		包含する細々目	1	2	1	3	10	1	2,046
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	94 効率的、効果的な行財政運営											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	普通財産(現在目的のない財産(土地・建物))	普通財産の総面積(土地、建物、山林)ha	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			86781	86781			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	良好・適切な状態を保つよう維持管理を行う。 遊休資産は処分(売却等)する。	遊休資産を売却した金額(千円)	18目標	0	最終目標	23	
			18実績	5408	19目標	40000	↑
			23目標	45000	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通財産の維持管理</li> <li>財産台帳の登録、除却、修正業務</li> <li>普通財産の貸付業務</li> <li>建物火災保険関係業務</li> <li>遊休資産の売却等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通財産の維持管理(樹木伐倒、草刈りほか)</li> <li>財産台帳の登録、除却、修正(上村、南信濃地区分登録ほか)</li> <li>普通財産貸付(契約更新事務)</li> <li>建物火災保険関係事務</li> <li>(臨)旧山本支所ほか解体工事</li> <li>(臨)全市借地実態調査(3年に1度:借地料算定基礎資料作成)</li> <li>遊休資産の売却</li> </ul>	市有物件災害保険適用件数	8
	18年度の実績			
	19年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通財産の維持管理(樹木伐倒、草刈りほか)</li> <li>財産台帳の登録、除却、修正(上村、南信濃地区分登録ほか)</li> <li>財産管理システムによる処理検討</li> <li>普通財産貸付(契約更新事務)</li> <li>建物火災保険関係事務</li> <li>遊休資産の売却(売却までの準備:ホームページによる該当土地の紹介等)</li> </ul>	市有物件災害保険適用件数	8

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	490	491
一般財源	26,327	1,555	
事業費計(A)	26,817	2,046	
人件費	正規職員所要時間	18年度 2,700	19年度 2,700
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	9,655	9,655
	トータルコストA+B	36,472	11,701

特定財源内訳や補足事項	建物火災保険地元負担金
-------------	-------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	効率的、効果的な行財政運営 市の行財政が無理、無駄、ムラなく運営される	集中改革プランの目標達成度	現状値	-	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	100
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 市が所有した時点で財産管理が生じる	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見 遊休財産については積極的な処分が必要との意見がある。
------------------------------------	--------------	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 遊休資産の処分が進めば成果は向上する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 適正な維持管理ができない。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 財産の中には目的をもった行政財産と種類ある。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 市の財産であるため		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 資産の処分については、適正な負担をお願いしている。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="text"/>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 遊休資産の売却 処分可能な土地を整理し、公開するとともにできる限り売却処分する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	